

血友病の関節超音波画像診断における AI 読影支援プログラムの有用性検討

研究目的及びその内容

本研究では、2026 年 9 月 9 日時点で実施中の「定期的な出血予防療法実施中の先天性血友病 A 患者を対象とした関節画像評価に関する多機関共同、前向き観察研究：TAKUMI study」に書面による同意が本人（あるいは代諾者）から得られた上で参加されている方から頂いた関節超音波画像、病態評価結果データを用いて、現在開発中である AI 読影支援プログラムの有用性検討を実施いたします。得られた画像を現在開発中のプログラムの性能検証や追加学習データとして利用します。

研究実施期間

2026 年 10 月 08 日～2028 年 12 月 31 日

研究に用いる情報

本研究では、2026 年 9 月 9 日時点で実施中の「定期的な出血予防療法実施中の先天性血友病 A 患者を対象とした関節画像評価に関する多機関共同、前向き観察研究：TAKUMI study」に書面による同意が本人（あるいは代諾者）から得られた上で参加されている方から頂いた関節超音波画像、病態評価結果データ及び患者背景情報を使用します。それらの情報やデータは、中外製薬内の保管・管理システムより移管します。既に取得済みの情報やデータを使用するため、追加の情報取得はありません。また、本研究で取り扱う情報には氏名等の個人を特定できる情報は含まれておらず、第三者にはどなたのものか一切分からない形で使用します。

本研究における情報提供の範囲、公開方法

本研究に用いる情報やデータの一部は、本研究の委託先である株式会社とめ研究所に提供されます。本研究にて得られた情報は、中外製薬が入手し、解析を行います。本研究の結果は、国内及び海外（スイス、米国、シンガポール）にある中外製薬関連会社の間で共有される可能性があります。また将来、現時点では特定することはできませんが、国内外の共同研究・開発先、外部専門家及び規制当局に提供する可能性があります。さらには、論文、学会、特許、申請資料等で公開します。いずれの場合も、個人が特定できないように加工した後、共有・公開・開示します。海外における個人情報の保護に関する制度は個人情報保護委員会のホームページ上で確認できます。

<https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>

研究責任者

中外製薬株式会社 山川 暢英

文書作成日 2026 年 9 月

中外製薬株式会社